



第94号  
2013年6月18日発行

グラッドストーン日本語学園  
ひかり文集

バンクーバー新報 2013年6月6日号掲載 Vancouver Shingo Japanese Weekly Newspaper

六月六日のバンクーバー新報より

# 第42回グラッドストーン日本語学園 卒業式並びに学芸会

## 一生懸命頑張る2歳から2年生 (午前の部の学芸会)

5月26日(日)日系センター・博物館ホールにて、グラッドストーン日本語学園第42回卒業式並びに学芸会が行われた。午前10時開演と同時に行列で並んでいた子ども達、ご家族の方々が笑顔で入場すると、ホールに用意されていた400席はあっという間に埋まった。

「一生懸命頑張ります、お父さんお母さん見てください。」と1年生の元気な声でスタートし、2歳児から2年生A組の順で次々と道歌、合奏、早口言葉、踊りの発表が元気に続いた。大きな声で力いっぱい一生懸命に頑張る子ども達の姿がとてもかわいらしく微笑ましい中、会場に大きな拍手が続いた。

最後は恒例となった生徒全員による「小さな世界」の歌と手話の発表をした。170人以上の子供たち全員がステージにのると、会場に大きな声が鳴り響く。歌にあわせた手話をみんなで元気よく発表する姿は、とても迫力がある感動的なシーンとなった。

## 卒業の言葉に感動する卒業式

可愛らしい幼稚園科、小学科2年生A組までの学芸会午前の部が終了すると、午後1時から卒業生小・中・高合わせて44名の卒業式が始まった。緊張した趣きの卒業生一同、それを温かく見守るご家族の皆様方。

オーカナダ、君が代、校歌斉唱で式が始まると、厳粛な雰囲気の中、卒業証書が授与された。

在バンクーバー日本国総領事館総領事岡田誠司氏、日系文化センター・博物館会長林光夫氏より挨拶を頂くと、卒業生の高等科、中学校、小学科の生徒が思い出を語った。

「今日私の卒業式だけど、家族と一緒にこの舞台上に立っている気持ちで感慨無量です。」「ずっと続けてきた言葉ノートにちりもつもれは山」となると書いていますが、本当にその通りだと思います。こうやって振り返るとそのおかげで力もつき、日本語能力試験一級にも合格することができました。」「辞



5歳児による合奏



ソーラン節 (中3~高等科)



黒子を持って踊る2年生A組

めたいと思ったときは励ましてくれ、両親と二人三脚で諦めずに頑張ってきました。」「三歳からずっと日本語学校に通って来ました。日本語と柔道を習っていて、日本の柔道部の生徒たちと交流が出来た事がうれしかったです。」「今年になってから幼稚園のボランティアを始めました。折り紙の製作など、とても懐かしく幼稚園の頃を思い出しました。」「ホッケーをしているので、日本語学校を時々休まなければいけませんでしたが、でも、宿題を返してもらってお母さんと一緒にやりました。」「

ステージでの感動する言葉が続き、長い間一生懸命三者一体となって頑張ってきた日々を思い出させる涙ぐましいシーンとなった。卒業生より学園へ記念品が贈呈され、最後に村上学園長が、常に「幸せ」な気持ちで「辛抱強く」「失敗を恐れず」自分の希望と夢に向かって進んで欲しいと、三つの「し」の付く言葉をはなむけに贈った。最後の光を輝きながら、卒業生はカーネーションを手にして退場した。

## 生徒の手で進められた午後の部の学芸会

司会を中学一年生が担当し、舞台準備は中学校2年生と高等科初級が中心となった。小学科2年生B組から高等科上級による寸劇、ダンス、俳句、コントと発表が続く。恒例となった中学校3年生と高等科初級、上級の生徒によるソーラン節の踊りが発表された。躍動的な踊りで会場を盛り上げた。思い出に残る一年間の学習発表であった。



卒業生記念写真

グラッドストーン日本語学園  
Gladstone Japanese Language School



ミチノリ



五歳児土曜日クラスの似顔絵

《みんなの作文》

一年生

がくげいかい

すずき サシャ  
わたしは さいごの ことばを  
いうやくでした。そして すごく  
しんぱいでした。なぜかと  
と たくさん 人が いたからで  
す。でも、あきらめなかったです。

カールセン まや  
がくげいかいは たのしかった  
です。ぜんぜん どきどきしな  
かったです。おおきなこえで  
ました。ちいさなせいかいも う  
いました。ポツキーも たべま  
した。おうちへ かえったら、パ  
とママは ほめました。うれし  
かったです。うたうのが かん  
たかったです。しっかりと な  
なかつたです。がくげいかいへ  
いって うれしかったです。

チュウ はな  
がくげいかいは あつかったで  
す。けど がんばりました。が  
くげいかいの あと、いえに  
かえりました。とつてもつか  
れたので じぶんの いぬの  
おなかを まくらにして、  
がくげいかいの ことを  
かんがえました。とつても  
たのしかったです。

のぶはら かいり  
一ねんせいの みんなは は  
やくちことばと ちいさな  
せいかいを しました。よく  
できました。また やりたい  
な。こんどしっかりとしま  
す。にちようびでした。せん  
せい ありがとうございます。  
どきどき しました。

まきはら なおか  
一年一くみの クラスは につ  
けいホールの がくげいかい  
で どりふのは や口ことばと  
ちいさなせいかいを しま  
しました。どきどき しま  
したけど、たのしかった  
ので がんばりました。

ほりうち まや  
にちようびに がくげいかい  
を しました。はや口ことば  
とちいさなせいかいを しま  
しました。ちよつと、どき  
どき しました。につけい  
せん



タールの すてい  
じで  
しました。

二年A組

学げいかい(わけをせつめい)

村上 知伽  
学げいかいで しかいを マ  
イクで 話しました。たの  
しかったです。  
どうしてかという、みんな  
の まえで しかいが でき  
たからです。

ハミルトン かい  
学げいかいで マイクに お  
はなしを して、ちよつと  
はずか かったです。  
どうしてかという、た  
くさんの人の まえで お  
はなしを したからです。  
あとでおかあさんが、  
「じようずに できたね。」  
と 言つて、ぼくは、う  
れしかったです。

ウエジャー アリス  
学げいかいで おどりと  
うたを しました。学げ  
いかいの ステージに の  
るまえに どきどき しま  
しました。  
それは、マイクで話すの  
は、きんちようしたから  
です。

あらき みあ  
学げいかいで、おしくら  
まんじゆうとひらいたひ  
らいたのダンス

をしました。楽しかった  
です。なぜかと言うと、  
いっぱいがんばつてこ  
えを出したからです。

村田 りこ  
学げいかいで しかいを  
して たのしかったです。  
なぜかという、はじ  
めて しかいを したから  
です。

コルズ 能亜  
学げいかいで いっぱい  
ダンスを おどりました。  
いっぱい人がいて きん  
ちようした。それは、  
ステージの上で はつ  
びようしたからです。  
ぼくのクラスは、ひ  
らいた ひらいた、お  
しくらまんじゆうと、  
小さなせいかい  
を うたいました。  
たのしかったです。



はつ  
びようしたから  
です。ぼくの  
クラスは、ひ  
らいた、お  
しくらまん  
じゆうと、  
小さなせ  
いかい  
を うた  
いまし  
た。たの  
しかったです。

## 二年B組

学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>のかんそう

こじま ゆたか

かぐやひめのげきをする前<sup>まえ</sup>には、すごくきんちようしました。いっぱい人がいたし、ビデオテープをとっている人が、たくさんいたからです。だけど、げきのあとは、おもっていたよりちやんとできたなおもいきました。

わたしが一ばんすきだったのは、あらしのリミックスダンスです。どうしてかという、おねえちゃん<sup>あ</sup>がメンバーだったからです。あと、ゆまちゃんのおねえちゃんも、メンバーだったからです。わたしは、みんなとてもがんばったとおもいます。

ながた エマ

五月二十六日は、学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>でした。二年B組<sup>ぐみ</sup>は、「かぐやひめ」をしました。わたしのクラスで、五人だけきました。えりかちゃんとカイリーちゃんとひろきくとケイシーくとわたしです。わたしのはつびようがおわったら、お母<sup>かあ</sup>さんが、「よくできたね。うまかったよ。」と言<sup>い</sup>ってくれたので、うれしかったです。とても楽<sup>たの</sup>しい学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>でした。



グランドストーリー日本語学園  
Gladstone Japanese Language School

ふるや あや

「かぐやひめ」のげきをしたとき、とてもドキドキしました。とてもきんちようしました。けれども、お母さんが、おくのほうでうえんしてくれたから、ほっとしました。また一ばん気にいったのは、あらしのダンスです。どうしてかという、みんなチェックのシャツをきていて、かっこよかったです。そして、わたしはおかあさんからほめられました。

かとう さくら

さいしよは、ちよっときんちようしました。でも、そのあとさちようしませんでした。たのしかったです。おかあさんが、かぐやひめのやくをしたといっています。なぜかという、三人の男の人が、かぐやひめをすきになるからです。

## 三年生

ハリソン モンテイ

ぼくは学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>のおどりの前<sup>まえ</sup>に動物<sup>どうぶつ</sup>のだじやれを言<sup>い</sup>いました。

カーテンが開<sup>あ</sup>いたら、先生<sup>せんせい</sup>がぶたいの前<sup>まえ</sup>に立<sup>た</sup>っていたので、おどりを教<sup>おし</sup>えてくれるんだと思<sup>おも</sup>い、ほっとしました。おどりは思<sup>おも</sup>ったより楽<sup>たの</sup>しかったです。おかあさんが「じょうずにできたね。」

と言<sup>い</sup>ってくれました。それと、「しんけんな顔<sup>かお</sup>をしてたね。」と言<sup>い</sup>われてしまいました。ちよつとはずかしくなっていました。

ふじ井 ゆうり

学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>で、みんなでおどりました。歌<sup>うた</sup>の名<sup>な</sup>前は「ゆうき百<sup>ひゃく</sup>パーセント」。そして、いつもみんなでれんしゅうしました。れんしゅうしている時にみんなでいっしうけんめいがんばりました。そしてぼくの友<sup>とも</sup>だちけい太<sup>た</sup>くんといっしよにシャレを言<sup>い</sup>ったりしました。ぼくがいちばんおもしろいと思<sup>おも</sup>ったのは一休<sup>いっしよ</sup>さんでした。学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>がおわるまで、ともだちとみんなであつていました。

なかい 梨<sup>なつ</sup>結<sup>むす</sup>

学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>で二ついいことがありました。一つは、わたしのおにい

さんがそつぎようしきに出て、お母<sup>かあ</sup>さんとお父<sup>ちち</sup>さんがうれしそうでした。

そして、あゆみちゃんとチワワをやりました。わたしがチワワをかいてみて、おかあさんがかわいいて言<sup>い</sup>ってくれました。学<sup>がく</sup>びい会<sup>かい</sup>は楽<sup>たの</sup>しかったです。

アームストロング 蓮<sup>れん</sup>

ぼくはゆうき100%をおどりました。動物<sup>どうぶつ</sup>のことばもしました。ぼくはおすしやさんの人<sup>ひと</sup>でした。ぼくが一番<sup>いちばん</sup>おもしろかったのは、「コントいろいろ」でした。ぼくのお兄<sup>あに</sup>ちゃん、はいくをししました。じょうずなはいくでした。日<sup>ようび</sup>曜<sup>ようび</sup>日はすごく楽<sup>たの</sup>しかったです。

## 四年生

山口 かえで

一休<sup>いっしよ</sup>さんのげきでじんないさんの役<sup>やく</sup>をしました。げきのだいめいは、「はしをわたるな」と言<sup>い</sup>います。はしをわたるなと書<sup>か</sup>いてあつて、一休<sup>いっしよ</sup>さんとちんねんさんがまんな中<sup>なか</sup>をわたつていきました。はしをわたるなとかいてるのに、まんな中<sup>なか</sup>から行<sup>い</sup>ったのがおもしろかったです。次<sup>つぎ</sup>はもっと大きな声<sup>こゑ</sup>でやりたいと思<sup>おも</sup>います。おかあさんが「よくできました。」と言<sup>い</sup>ってくれました。

マエデ アリッサ

「一休さんのげきでちんねんさんの役をしました。だいたい、「はしをわたるな」でした。私はせりふをよく読めたとおもいました。でも、はやくことばを話しました。それを気をつけました。姉は、

「長かった。」

と言いました。おとうさんとおかあさんは、

「すごかったよ。でもちよこつと長かった。」

と言いました。

山口 あいり

私は学芸会で上手にできました。わたしはすごくよかったけど、わすれずに言えました。じぶんのせりふのところをわすれてしまった人がいっぱいいました。わたしのお母さんが、

「すぐくじようずだったね。」

と言いました。わたしのお兄ちゃんも、

「ぼくのはもつとおもしろかったよ。あつかんべ。」

と言いました。今年はずごく楽しかったです。

スチュワート スコット

学芸会をみて、おもしろかったです。ぼくのおねえちゃんのはいくはすごかったです。ぼくのお母さんとお父さんがぼくのげきを気に入りました。ぼくはちゃんとセ

リフをおぼえました。ぼくがみんなの前でしゃべった時、本当にはずかしかったけど、セリフはちゃんとおぼえていました。学芸会がおわったら、ポッキーをもらって、食べました。

レノビッチ たくま

ぼくのクラスは「一休さん」をしました。四つの話をしました。

四つの話の名前は「どくなしわざ」

「けがわとたいこ」「はしをわたるな」と「ついたてのとら」

です。ぼくは「ついたてのとら」と「どくなしわざ」のナレーション

をしました。ナレーションの時、ぼくはよくできました。ぼくの三年生のいとこが勇氣100%

のダンスをしました。ぼくは見えなかつたけど、お母さんが

「ダンスよかつたよ。」

と言いました。

## 五年生

### 学芸会を終えて

アームストロング 真終

今年の学芸会はぼくの見た中で最高でした。その理由はパフォー

マンスにあります。学芸会は一つ、一つのジャンルに集中し

ますが、今年は多数のジャンルがあつて、とてもおもしろかつた

です。俳句の説明では一番目立つ役に

えらばれて、少しきんちようしました。結果は思いの外、上手に

できました。

ブレイン 桐香

学芸会の前はどきどきしていても、何も考えられませんでした。

でも、一年生からやっているの、ステージの上で言い終わったら、

もう全然ドキドキしませんでした。私は、全然ドキドキしている

様子になかつた二年生の「かぐや姫」が好きでした。むずかしい

文章や言葉覚えていたのがすごいな、と思いました。声も聞こ

えたし、ちゃんとお話がわかつたので好きでした。私も二年生の人

たちみたいに発表したいです。

工藤 麗奈

学芸会で一番好きだつた部分は、「ソーラン節」と、「かぐや

姫」です。「ソーラン節」は、踊りが面白かつたです。「かぐや姫」はとてもかわいかつたです。自分が発表している間は、すごくきんちようしていました。「みんなに私の心臓のドキドキが聞こえてしまふ。」と思ひました。来年の学芸会もたのしみしています。

村松 健太

ぼくは学芸会で俳句を発表しました。ぼくに初めてのがラ

ッドストーンの学芸会でした。ぼくは、俳句の説明をやりまし

た。飛良君と堅志君が俳句を読みました。お母さんは、ビデオをとつ

てくれました。でも、全然きんちようしませんでした。お母さんは

「良くできたね。」と言つてくれました。

## 六年生

### 卒業式と学芸会

ミリング 万彩

私は、卒業式の時、きんちようしました。みんなの前で「はい」というのがこわくて、はつきり

言えませんでした。でも、さいごに花をもらえてうれしかつたです。

みんなと写真をとつたのがよかつたです。

学芸会で、私のグループが発表



したとき、みんなわらわらしてくれてよかったです。またやりたいです。私の妹は「100%勇氣」をおどりました。よくできたと思いましたが、ソールンのおどりがすごくじょうずでびっくりしました。いかつか私もおどらなきやいけないかもしれませんから、きんちようしてあります。卒業式と学芸会は楽しかったです。また高校でもがんばって学芸会をしたいです。

上原 朱音

わたしは、はじめての卒業式なのでどきどきしていました。車を出した時、友達と会いました。友達と同じ服を着ていました。中に入ったらほかの友達と会いました。友達といっしょに写真をとりました。お母さんはずっと

「かわいい、かわいい。」と言っていたけど、わたしはそう思いませんでした。

そのあとすぐ卒業式が始まる時間でした。席にすわったら、いすの下には辞書を見つけてました。わたしは辞書をもっていたのだけ、

「辞書があつていいわ。」とお母さんが言いました。

卒業式がやっと始まりました。ずっとどきどきしていました。でも楽しかったです。

藤井 海瑠

ぼくは今年、小学校六年生から卒業しました。中学校を楽しみにしています。とてもうれしいです。卒業証書をもらったとき、すごく感動しました。席から立ち上がった瞬間、ぼくはちよつときんちようしました。ぼくは、ときどき日本語はむずかしいと思うけど高等科までがんばりたいです。学芸会ではいろんなパフォーマンがあつて、すごかったです。みんながんばったと思います。ぼくが一番好きなのは、高等科のダンスでした。次の学芸会が楽しみです。

中学科一年生

八木 晴香

日曜日は学芸会でした。中学科一年生は司会をしました。私は「これから、保護者の有志の方々によるベルえんそうです。曲はよろこびの歌です。それではおねがいします。」

と司会をしました。きんちようしてはいなかつたけれど、一つ言いましがえたことばがありました。こんど司会をするときはもっと練習をして当日ましがえないようにしたいと思います。私はソールン節が一番好きでした。なぜかという、一番元気があつたからです。

マジヤウスキー 海

五月二十六日に第四十二回の学芸会が行われました。ぼくの弟は三年生で「100%勇氣」の音楽をおどりました。三年生全員が来て、ジーンズに白いティージャツとぼうしを着ていました。ダンスの始めにぼくの弟は後ろの右がわでした。そして前に来ておどりはじめました。ぼくの弟を見ていることはとても楽しかったです。今年と去年の学芸会を比べると、去年の学芸会はもっとこわかつたです。それは、去年は卒業するがわだつたので、ステージに行つて、みんなを見たときにとてもこわかつたからです。今年も司会をして、とてもかんたんでした。

下川 りあ

今年の学芸会は楽しかったです。中学科一年生は司会をしました。私は「終わりの言葉」の司会をしました。学芸会ではたくさんの方がいました。ちよつときんちようしました。司会をするときに、光が私の目に当たつて、前が見えませんでした。むねがどきどきしました。

私は、四年生も手伝つて、はいけいの絵を持ちました。一番楽しかつた発表は、中学科三年生と高等科のソールン節でした。すごく見るのが楽しくて、わたしもやりたかつたです。わたしはそんけ

いしました。高等科のみんなががんばっていました。卒業おめでとうございます。

田淵 絵莉子

私は学芸会で、司会をしました。私は五年生のはいくのしようかいをしました。

「グループごとに好きな点などについて発表します。」

とおぼえて言いました。みんなのはいくはよくできていました。また次に司会をするときに、気をつけないで読むことです。良かつたことは、長い文をおぼえて、見ずに言えたことです。一休さんのとんち話やかぐやひめを見たのがおもしろかつたです。卒業式では、高等科上級生を見たときに、「みんなさいごまでがんばつてすごいな。」と思えました。ソールン節も見るのが楽しかったです。





6月8日、日系ホームにてグラッドストーン日本語学園の中学科卒業生12名による卒業制作発表会が行われた。学園では毎年、中学科の卒業生たちが『バンクーバーの観光案内』というテーマで、卒業制作に取り組んでいる。昨年は、それらを文集にまとめたが、今年はパワーポイントを使って、それぞれの学生たちが思い思いのデザインや



使いたいと、わざわざ自分の担当の場所まで足を運んだ学生や、「ここはノースバンクーバーでも、自分がとても好きな場所です、よく友達と散歩に行きます」と、おすすめの場所を自分のテーマに選んだ学生もいた。また、



## グラッドストーン日本語学園 ～日系ホームで中学科3年生による卒業制作発表会～

写真などを駆使して、自分たちの暮らすバンクーバーの名所についてまとめた。

制作にあたった学生の中には、「自分で撮った写真を



発表会の前にはリハーサルも重ね、日系ホームのおじいさんおばあさん達に楽しんでいただけるよう、クラス一丸となって準備に励んだ。

発表会は、終始和やかな、また楽しい雰囲気で行われ

た。参加されたシニアの方たちや保護者も、笑顔で学生達の発表を聞き暖かい拍手を送った。発表会を終えた学生たちは、「本当は、もう少し深く説明したいところもあったけど、緊張してしまし上手く説明が出来なかったかもしれませんが、でも、クラスのみんなと一緒に頑張ったので安心感もありま



した」「日系ホームの皆さんの笑顔を見られて、うれしかったです。クラスメートのパワーポイントも上手にできていて、見ていてとても楽しかったです。今日は、いろいろなことを学びました」と、感想を述べた。自分たちの学習の

成果を日系ホームの方たちの前で発表できたという達成感や、自信を持った学生達の様子が見られた。

今後もこのような世代を超えた交流を通して、これまで学んできた日本語をより実用的な場で発揮していけると感じたと感じたと感じたひとときであった。

### 高等科初級

#### 学芸会と卒業式

チャン みら

「かまえ！」

と私は大声をあげました。そのかけ声に皆は

「おーっ！」

と叫び、音楽が鳴り始めました。

私たちは勢いよくソーラン節を踊りました。

授業中、最後の三十分はいつも踊りの練習をしていましたが、ちやんと練習している人とちやんと練習していない人がいて、あまり練習とはいえないくらい練習でした。このままだと本番ではちやんと出来るかどうかとても不安でした。けれど、やはりステージに立つと皆も緊張して、本番中は練習より何倍も頑張りが、上手に踊れました。

今回は初めて卒業式にピアノの伴奏をしました。何度も間違えて、とても申し訳なかったです。

ピアノをする出番を待っていた間、高等科の卒業生を見て「ああ、来年は私が日本語学校を卒業するんだなあ」と改めて思いました。五歳の頃から日本語学校に通っていたので、来年私が卒業するとは信じられません。最後の学芸会になるので、思い出に残ることがしたいです。

### 高等科上級

#### 卒業の言葉より

ホン スーティン(洪 思敬)  
ぼくは一年間しか通えなかったですが、授業を通して日本語学習だけでなく、カナダでは出会えない日本の文化に触れ、その素晴らしいさを改めて実感しました。琴やお茶、華道などとても貴重な体験をさせてもらいました。

後藤 早絵

十年間、通った日本語学校。ここまで来れたのは、両親のおかげです。宿題でわからないことがあったら教えてもらい、辞めたいと思ったときは励ましてくれ、両親と二人三脚で頑張ってきました。

また、この一年は社会人として仕事をしながら頑張りました。

バートン 絵美里

雨の日も風の日も、十二年間こまでががんばって長く通えたのも、父と母のおかげです。今日は、わたしの卒業式だけど、家族も一緒にこの舞台上に立っている気持ちで感慨無量です。日本語学校のおかげで日本に住んでいる家族にも問題なく話せることができ感謝しています。

ボイコット 敬来  
 ずっと続けてきた言葉ノートに「ちりも積もれば 山となる」と、書かれています。本当にその通りだと思えます。こうやって振り返るとそのおかげで力もつき、日本語能力試験一級にも合格することができました。なまけたと言った私を叱咤激励し、毎週送り迎えをしてくれた両親、本当にありがとうございました。

莫 よう

この十年間、日本語学校をやめたいと思ったこともありましたが、日本語の勉強をあきらめるのは嫌だったので、一番大変だった言葉ノートも歯を食いしばって頑張りました。今年、高等科上級を卒業するのはたった五人。その一員として私は意気揚々とここに立っています。

以上、授業中に書いた作文です。良く書けましたね。

★漢字検定合格者(二月九日実施)

- 七級：クウジョンナサン・西村有生
- 八級：藤原光生・田淵絵莉子・マジヤウスキー海・広瀬友哉・オマールアリ慧
- 九級：ホワイトラナ(満点)・黒川留愛・中井楓大・ザヌツジイ夏織・岩井美華・倉本遼太・田淵伸哉・チュウナルナ・ブレイン彦・呉莉那・アーサーエリカ・江翊綺
- 十級：ヒバ

バンクーバー新聞 2013年5月9日号掲載 Vancouver Shingo Japanese Weekly Newspaper

# グラッドストーン 日本語学園ニュース

5/3 (金)

日系ホームにて、グラッドストーン日本語学園3、4歳児クラスが、子どもの日にちなんだ春の歌の発表をした。おじいさん、おばあさん方と子ども達の親睦をより一層深めるよい機会となった。

会場に入ると、おじいさん、おばあさんが新聞で手作りのかぶとを子どもたちにくださり、子ども達はそれを頭にのせて「春が来た」から発表が始まった。なじみのあるリズムに合わせて体をゆするおじいさん、おばあさん。

大きな声で「ちゅうりっぷ」を歌う子ども達と一緒に口づさむおじいさん、おばあさんの姿はとてもほほえましかった。

「このぼり」の歌も元気に歌い、最後は手話に合わせた「小さな世界」の歌の発表となった。

五月の暖かい春風に合わせておじいさん、おばあさんの温かい思いやりを感じる印象深い訪問となった。



「ホッケーは、チームでするスポーツ。一人だけでゴールするものではなく、チームメイトがお互いにパスをして、助け合い支え合いながら同じ夢に向かってチャレンジしている。どんなところででも周りを助け、助けられていることを忘れずに」と子ども達に伝えてくれた。

そして、バンクーバーパラリンピック(2010年3月)で得た銀メダルを子ども達は目を輝かせ一人一人触れ、その重さにびっくりしていた。そのメダルの裏には点字でゲームのモットーが記されていた。

子どもからの、アイススレッジの板の上にはどうやってのるのですか?という質問に対し「足をまっすぐにしてのり、板の下のスケートは、その選手に合わせて数や幅が変わる」と話された。

子供たちは、上原選手のお話真剣に耳を傾けて、楽しいひとときを過ごした。



バンクーバー・パラリンピック銀メダリストの上原大祐アイススレッジホッケー選手がグラッドストーン日本語学園を訪問した。その日の授業の2年生へ「チャレンジすることの大切さ」と題して話をされた。

上原選手が子ども達に伝えたいこととして、  
 1. 夢をもつこと  
 2. その夢に対してどんなチャレンジでも試みること  
 3. 周りの友達を助け支え合うこと。  
 の三本柱があるという。

上原選手は、長野パラリンピックにて初めてアイススレッジホッケー日本チームが参加した試合観戦をきっかけに、自身のパラリンピック出場を夢見て、たくさんさんのチャレンジをしてきた。今でも次回のソチパラリンピックに向け、アメリカのフィラデルフィアのチームに1年間アイススレッジホッケー留学をして、自身の技に磨きをかけている。

小さい頃から学校では足で階段を上るかわりに、おしりと手でのぼり、本やノートは友達が運んでくれた。幼少の頃は、友が支えてくれた。

5/2 (木)

ロイヤル魁・グラム未来・堀内望亜  
 ・マジヤウスキーコール・リー舞香・ラムあい

五月九日のバンクーバー新聞より

《学園からのお知らせ》

**三学期行事**

- 四月二日(火) 三学期始業日
- 四月二十一日(日) サンラン参加
- 五月二日(木) アイススレッジ上原選手と交流
- 五月二十六日(日) 第四十二回卒業式と学芸会
- 六月一日(土) 漢字検定実施
- 六月六日(木) モゼーク定住援助説明会
- 六月九日(日) 運動会
- 六月二十二日(土) 三学期終了日
- ☆サマースクール
- 八月二十六日(月) 三十日(金)
- ☆ 夏休みの宿題を少しずつ毎日しましよう。長い夏休みを元気に楽しく過ごしましよう。
- ★ 新学年度は、九月三日(火)から始まります。

☆ ご寄付御礼

ピーターズ様・野村様(基礎)・チャン様(基礎)・陳様・小川様(5歳)・小林様(2歳)・ウエジャー様・マックコーマック様・リー様・ロダム様・キャッツ様・河野様・ハミルトン様・ワット様・バリー様・ハリソン様・木山様・古屋様・宮本様

発行(学期に一回)

グラッドストーン日本語学園  
 (日系ヘリテージセンター内)  
 電話 六〇四一五二一〇九八〇